

2019（令和元）年度 私立学校初任者研修 近畿地区 研修会プログラムのご紹介



2019（令和元）年度の私立学校初任者研修近畿地区研修会は、8月19日（月）～8月20日（火）の1泊2日の日程で大阪府大阪市を会場にして実施されます。

今年度の近畿地区の研修会のプログラムは、私立学校に勤める参加者に必要な「私学の教育と入試」に関する講義をはじめ3つの講義と、私学に勤める先輩教員による体験発表、他校の先生とグループをつくって行うグループ討議などが企画されています。

会期 2019（令和元）年8月19日（月）～8月20日（火）

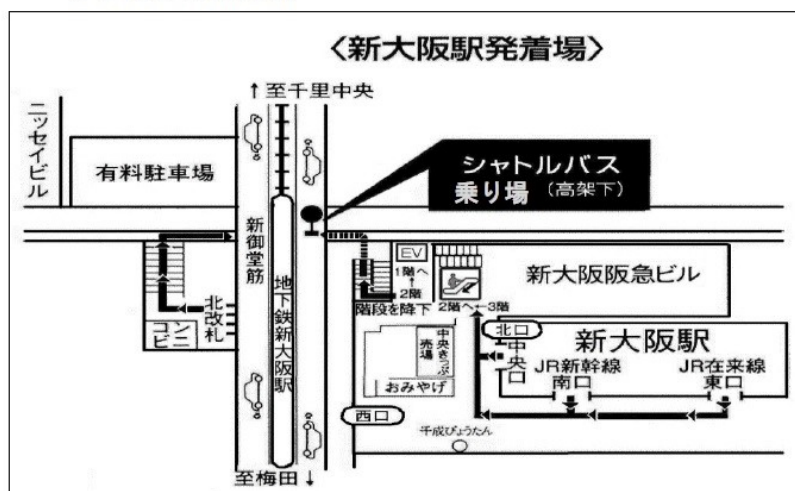
会場 大阪ガーデンパレス

〒532-0004 大阪府大阪市淀川区西宮原1-3-35

TEL: 06-6396-6211 FAX: 06-6396-6220

参加費 32,000円（参加会費・宿泊費（1泊）・食事代を含む）

シャトルバス乗り場



アクセス

新大阪駅から

- ・無料シャトルバスで3分
- ・新大阪駅北口から徒歩10分

シャトルバス 時刻表

時刻	新大阪駅発	ホテル発
7時～22時	05	00
	20	15
	35	30
	50	45
23時	05	00

初任者研修ではどのようなことを学ぶのですか？

①「私学人」としての基礎知識を身につける

②実践的指導力を育成する

③グループ討議を通じて日々の疑問を解決し、他校教員と横のつながりを作る



～参考～ 平成30年度 近畿地区初任者研修の様子



「目覚めよ、私学！—私学の歴史的・現代的意義を問う—」では、私立学校が日本の教育界において果たしてきた役目を歴史的に学び、私学人としての教養を深めました。

参加者のコメント：「私学教育はどうあるべきか」「私学の存在意義とは何か」を、自分自身に対する問いとして落とし込むことが出来た。

「学校組織のなかで学び合う教員の人間関係づくり」「学級経営上の課題—保護者との関係づくりを中心として—」では、教員として学び続けるためのヒントや、クレーム対応などのポイントを学びました。

参加者のコメント：教員に必要な力はどうのように身につけたら良いのかという疑問を解決するためのヒントをもらうことが出来た。



体験発表では、現場で指導されている先生方の理念や、具体的な実践内容を聞き、教育について改めて考え直したり、現場ですぐに活用できる授業内容について理解を深めました。

参加者のコメント：教員自身が新しく学んでいく姿勢が大切なのだと強く感じた。教育には色々な形があると知り、考えさせられました。



グループ討議では、参加者が普段感じている悩みや疑問などを他校参加者と共有し、解決のための道を模索しました。

参加者のコメント：大変多くの学びがありました。普段はお会いすることがないような方と討議をすることで、刺激を受けることが出来ました。



2019（令和元）年度 私立学校初任者研修 近畿地区 研修内容

講義

私立学校の教師としての心構えや最新の教育の動向・コミュニケーションや人との接し方について学びます。

「私学の教育と入試」

岡田清弘 講師

（西大和学園中学校・高等学校 学園長）

「コミュニケーションあふれる教室をつくろう」

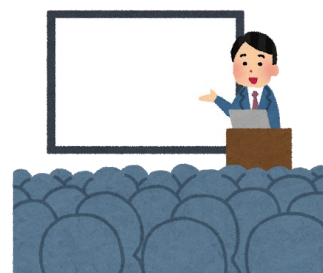
菊池省三 講師

（教育実践研究家）

「『ほめる』とは光を届けること！～あなたの周りにはダイヤの原石がいっぱい！～」

西村貴好 講師

（一般社団法人 日本ほめる達人協会 理事長）



体験発表

体験発表は現場で活躍されている中堅～ベテランの先生方から、より実践的な話を聞くことが出来ます。
今年度は研修参加をうけての報告・ICT活用について学びます。

「学びのパラダイムシフト～英語教育推進リーダー 中央研修に参加して～」

東山泰浩 講師

（京都外大西高等学校 教諭）

「ICTを活用した学びの実践」

伊藤久泰 講師・國領正博 講師

（立命館守山中学校・高等学校 教諭）



グループ討議

グループ討議では他校の先生方と一緒にグループをつくり、テーマに沿って議論を進めます。普段感じている疑問・悩みを共有することで、解決への糸口を探ります。



2019（令和元）年度 初任者研修 近畿地区研修会 講師紹介

「令和」時代の幕開け、様々な分野でのグローバル競争、AIなどの技術革新が一層加速していく中で、子どもたちがどんな力をつけて生きていくのか？私学が自主性を発揮しながら、どんな教育を展開していくのか？教科指導、生徒指導、進路指導、保護者対応、生徒募集、入学試験のあり方など、大きな変化が求められています。各私学は様々な工夫を凝らし、生き残りをかけて努力しています。

特に今回は、慌ただしい日々の教育活動の中で、あまり意識が向かない生徒募集、入学試験の観点から、生徒たちが活躍する時代を見据えて、私学の先生としてどのように生徒に接していけば良いのかを考える機会にしたいと思っています。



講義「私学の教育と入試」担当

岡田 清弘 先生

西大和学園中学校・高等学校 学園長

初任者研修 近畿地区運営委員長からのご挨拶



一般財団法人 日本私学教育研究所
私立学校初任者研修地区運営委員（京都府）
近畿地区運営委員長
洛星中学校・高等学校
校長 阿南 孝也

私立学校へようこそ！ 皆さんを心から歓迎いたします。

「令和」時代がスタートしました。さまざまな分野でのグローバル化、AIなどの技術革新が加速する社会にあって、子どもたちはどのような力を身につけて生きてゆけばよいのでしょうか。今こそ各私立学校は、建学の精神に立ち返り、様々な課題に立ち向かっていかなければならない、そう考えています。

英語で「教育」を表す動詞の“educate”は、「e（外へ）＋ducate（引き出す）」という意味を持った単語です。子どもたち自身が、内に秘めている能力を発見し、開花させる、その場に立ち合い、お手伝いをする「教師の仕事」とは、何と創造的でやりがいのある仕事でしょう。

一泊二日の研修会は、学校の内外で活躍されている先生方の講演をはじめ、グループ討議や経験交流会など、多岐にわたる内容を準備しています。皆様方と学び合い、私立学校の先生として、何を大切にしていけばよいのかを考える機会となってくれることを願っています。

一般財団法人 日本私学教育研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8 市ヶ谷UNビル6階

TEL 03-3222-1621 FAX 03-3222-1683 日本私学教育研究所HP <http://www.shigaku.or.jp/>